

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 近畿財務局長

【提出日】 平成24年8月10日

【四半期会計期間】 第80期第1四半期(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

【会社名】 高压ガス工業株式会社

【英訳名】 KOATSU GAS KOGYO CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 取締役社長 竹内 弘 幸

【本店の所在の場所】 大阪市北区堂山町1番5号(大阪合同ビル)

【電話番号】 06(6311)1361番 代表

【事務連絡者氏名】 取締役経理部長 大北 隆 行

【最寄りの連絡場所】 大阪市北区堂山町1番5号(大阪合同ビル)

【電話番号】 06(6311)1361番 代表

【事務連絡者氏名】 取締役経理部長 大北 隆 行

【縦覧に供する場所】 株式会社大阪証券取引所
(大阪市中央区北浜一丁目8番16号)
株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次 会計期間	第79期 第1四半期 連結累計期間		第80期 第1四半期 連結累計期間		第79期	
	自 至	平成23年4月1日 平成23年6月30日	自 至	平成24年4月1日 平成24年6月30日	自 至	平成23年4月1日 平成24年3月31日
売上高 (千円)		17,780,349		17,845,189		72,724,890
経常利益 (千円)		1,367,871		1,280,280		5,543,790
四半期(当期)純利益 (千円)		785,104		722,249		2,734,846
四半期包括利益又は包括利益 (千円)		710,786		485,152		2,883,657
純資産額 (千円)		36,646,996		38,568,496		38,473,411
総資産額 (千円)		64,676,165		67,024,264		69,547,354
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)		14.24		13.11		49.62
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)						
自己資本比率 (%)		54.9		55.5		53.4

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しているため、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。
 2. 売上高には、消費税等は含まれていません。
 3. 「潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額」については、潜在株式がないため、記載していません。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社及び関係会社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、本四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要を背景に緩やかな回復傾向にあるものの、デフレの影響や欧州の債務問題、電力供給の制約等により、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは販売体制の強化をはかるとともに積極的な営業活動を推進してまいりましたが、当第1四半期連結累計期間の売上高は178億45百万円（前年同期比0.3%増加）、営業利益は11億38百万円（前年同期比5.7%減少）、経常利益は12億80百万円（前年同期比6.4%減少）、四半期純利益は7億22百万円（前年同期比8.0%減少）となりました。

当第1四半期連結累計期間における、セグメントの業績は、次のとおりであります。

ガス事業

ガス事業において、『溶解アセチレン』は、造船業界向けの需要が低迷したものの、一部の復興需要や自動車関連向け需要の回復により、売上高は前年同期を上回りました。『その他工業ガス等』は、窒素、アルゴンが鉄鋼、自動車、化学、非鉄金属などの製造業界全般にわたり需要が伸び、また、LPガスが輸入価格の上昇に伴ない売上高が増加し、売上高は前年同期を上回りました。『溶接溶断関連機器』は、スポット需要が減少し、売上高は前年同期を下回りました。『容器』は、特殊容器の需要が増加し、売上高は前年同期を上回りました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は134億10百万円（前年同期比0.7%減少）、営業収入は68百万円（前年同期比12.3%増加）、営業利益は9億72百万円（前年同期比11.3%減少）となりました。

化成品事業

化成品事業において、『接着剤』ペガールは接着用、繊維用が新規需要により増加し、粘着用がテープ、ラベル用途にそれぞれ需要を伸ばし、瞬間接着剤シアノンは海外の弱電関係、特に中国、ヨーロッパ向けが欧州不安の影響を受け減少したものの、売上高は前年同期を上回りました。

『塗料』は、室内温度の上昇を防ぐ遮熱塗料クールトップの需要が増加し、売上高は前年同期を上回りました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は42億73百万円（前年同期比4.9%増加）、営業収入は3百万円（前年同期比69.7%減少）、営業利益は3億56百万円（前年同期比5.7%増加）となりました。

その他事業

その他事業は、L S I カードの需要が減少し、容器等は海外向けの需要が減少し、売上高は前年同期を下回りました。

この結果、当第 1 四半期連結累計期間の売上高は 1 億61百万円（前年同期比21.1%減少）、営業利益は 4 百万円(前年同期比78.5%減少)となりました。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第 1 四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について、重要な変更はありません。

(3) 研究開発活動

当第 1 四半期連結累計期間の研究開発費は63百万円であります。

なお、当第 1 四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	100,000,000
計	100,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成24年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成24年8月10日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	55,577,526	55,577,526	大阪証券取引所 (市場第一部) 東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は 1,000株で あります。
計	55,577,526	55,577,526		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成24年4月1日～ 平成24年6月30日		55,577,526		2,885,009		2,738,251

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日である平成24年3月31日の株主名簿により記載しております。

【発行済株式】

平成24年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 450,000		
	(相互保有株式) 普通株式 92,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 54,543,000	54,543	
単元未満株式	普通株式 492,526		一単元(1,000株)未満の株式
発行済株式総数	55,577,526		
総株主の議決権		54,543	

(注) 1 「単元未満株式」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が600株含まれています。

2 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式及び相互保有株式が次のとおり含まれています。

自己株式 717株
 相互保有株式 スズカファイン(株) 231株
 スズカケミー(株) 560株
 名岐溶材(株) 45株(こうあつ共栄会名義)

【自己株式等】

平成24年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合(%)
(自己保有株式) 高圧ガス工業株式会社	大阪市北区堂山町1-5	450,000		450,000	0.80
(相互保有株式) スズカファイン株式会社	三重県四日市市塩浜町1	41,000		41,000	0.07
スズカケミー株式会社	佐倉市石川熊野堂620-1	43,000		43,000	0.07
名岐溶材株式会社	岐阜市手力町1-4	1,000	7,000	8,000	0.01
計		535,000	7,000	542,000	0.97

(注) 他人名義で所有している理由等

所有理由	名義人の氏名又は名称	名義人の住所
加入持株会における共有持分数	こうあつ共栄会	大阪市北区堂山町

2 【役員状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しています。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(平成24年4月1日から平成24年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受けています。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,292,635	13,633,368
受取手形及び売掛金	1 22,969,975	1 22,136,233
商品及び製品	2,380,581	2,421,776
仕掛品	361,895	408,974
原材料及び貯蔵品	1,170,450	1,225,689
繰延税金資産	741,857	654,341
その他	169,113	255,450
貸倒引当金	161,923	158,855
流動資産合計	42,924,586	40,576,979
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,602,470	4,761,512
機械装置及び運搬具(純額)	1,932,960	1,971,297
土地	12,112,466	12,112,466
建設仮勘定	282,167	235,297
その他(純額)	663,866	700,195
有形固定資産合計	19,593,931	19,780,768
無形固定資産		
のれん	137,270	142,581
その他	189,432	170,102
無形固定資産合計	326,702	312,684
投資その他の資産		
投資有価証券	5,222,470	4,767,402
繰延税金資産	472,624	540,580
その他	1,124,218	1,164,352
貸倒引当金	117,179	118,502
投資その他の資産合計	6,702,133	6,353,832
固定資産合計	26,622,767	26,447,285
資産合計	69,547,354	67,024,264

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1 17,309,062	1 16,385,092
短期借入金	3,504,000	2,794,000
1年内返済予定の長期借入金	43,171	41,116
未払法人税等	1,140,941	321,603
賞与引当金	1,084,347	526,452
その他	1 2,546,564	1 3,172,948
流動負債合計	25,628,086	23,241,212
固定負債		
長期借入金	3,663,347	3,653,348
繰延税金負債	403,533	386,970
退職給付引当金	255,794	226,690
役員退職慰労引当金	207,551	28,255
負ののれん	2,218	1,848
その他	913,411	917,442
固定負債合計	5,445,856	5,214,555
負債合計	31,073,942	28,455,768
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,885,009	2,885,009
資本剰余金	2,745,142	2,745,142
利益剰余金	31,064,607	31,400,969
自己株式	239,790	241,025
株主資本合計	36,454,969	36,790,095
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	742,029	450,893
その他の包括利益累計額合計	742,029	450,893
少数株主持分	1,276,412	1,327,506
純資産合計	38,473,411	38,568,496
負債純資産合計	69,547,354	67,024,264

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	17,780,349	17,845,189
売上原価	12,821,080	12,878,763
売上総利益	4,959,268	4,966,426
営業収入	72,673	72,267
営業総利益	5,031,942	5,038,693
販売費及び一般管理費	3,823,538	3,899,997
営業利益	1,208,404	1,138,696
営業外収益		
受取利息	1,520	1,251
受取配当金	62,237	59,001
受取手数料	18,108	19,862
負ののれん償却額	698	369
その他	126,194	112,994
営業外収益合計	208,760	193,479
営業外費用		
支払利息	20,751	19,297
その他	28,541	32,597
営業外費用合計	49,293	51,894
経常利益	1,367,871	1,280,280
特別損失		
投資有価証券評価損	7,639	5,782
ゴルフ会員権評価損	2,950	-
特別損失合計	10,589	5,782
税金等調整前四半期純利益	1,357,281	1,274,498
法人税、住民税及び事業税	259,096	329,693
法人税等調整額	257,576	160,889
法人税等合計	516,673	490,583
少数株主損益調整前四半期純利益	840,608	783,915
少数株主利益	55,503	61,666
四半期純利益	785,104	722,249

【四半期連結包括利益計算書】
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	840,608	783,915
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	129,821	298,762
その他の包括利益合計	129,821	298,762
四半期包括利益	710,786	485,152
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	663,827	431,113
少数株主に係る四半期包括利益	46,959	54,039

【会計方針の変更等】

当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日至平成24年6月30日)	
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)	
当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴ない、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しています。	
これによる当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。	

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理

当四半期連結会計期間末日は、金融機関の休日にあたりますが、満期日に決済が行なわれたものとして処理しています。当四半期連結会計期間末日満期手形は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
受取手形	1,202,609千円	1,132,423千円
支払手形	1,051,805千円	1,103,955千円
設備支払手形	6,019千円	53,240千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)、のれんの償却額及び負ののれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
減価償却費	365,138千円	340,183千円
のれんの償却額	10,019千円	9,689千円
負ののれんの償却額	698千円	369千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月29日 定時株主総会	普通株式	386,113	7	平成23年3月31日	平成23年6月30日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	385,887	7	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ガス事業	化成品事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	13,504,086	4,071,136	205,126	17,780,349		17,780,349
セグメント間の内部 売上高又は振替高						
営業収入						
外部顧客への営業収入	61,227	11,446		72,673		72,673
セグメント間の内部 営業収入又は振替高						
計	13,565,313	4,082,583	205,126	17,853,022		17,853,022
セグメント利益	1,096,982	337,509	19,777	1,454,269	245,865	1,208,404

(注) 1 セグメント利益の調整額 245,865千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ガス事業	化成品事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	13,410,207	4,273,306	161,674	17,845,189		17,845,189
セグメント間の内部 売上高又は振替高						
営業収入						
外部顧客への営業収入	68,809	3,458		72,267		72,267
セグメント間の内部 営業収入又は振替高						
計	13,479,017	4,276,765	161,674	17,917,457		17,917,457
セグメント利益	972,622	356,960	4,248	1,333,831	195,134	1,138,696

- (注) 1 セグメント利益の調整額 195,134千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1 株当たり情報)

1 株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	14円24銭	13円11銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	785,104	722,249
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	785,104	722,249
普通株式の期中平均株式数(株)	55,123,005	55,090,665

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年 8月 8日

高圧ガス工業株式会社

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 大西 康弘 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 秦 一三 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている高圧ガス工業株式会社の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成24年4月1日から平成24年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、高圧ガス工業株式会社及び連結子会社の平成24年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。